

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課

担当課長名：齋藤 親

<b>事業名</b> なしおだんちせん <b>名塩団地線</b>	<b>事業区分</b> 街路	<b>事業主体</b> 都市基盤整備公団	
<b>起終点</b> 自：兵庫県西宮市東山台三丁目 至：兵庫県西宮市国見台六丁目			<b>延長</b> 3.4 km
<b>事業概要</b> ：名塩団地線は、名塩ニュータウン各住区を都計道3・4・172を経て国道176号線へと連絡する重要な街路であり、延長3.4 kmの2車線道路である。			
H 元年度事業化	S 60年度都市計画決定 (S 62年度変更)	H 元年度用地着手	H 元年度工事着手
全体事業費 23億円		事業進捗率 97%	供用済延長 1.0 km
計画交通量 1,340台/日			
<b>費用便益分析結果</b> B/C (事業全体) 2.7 (残事業) 67.9	<b>総費用</b> (残事業)/事業全体 0.9/23 億円 (事業費：0.5/22.1億円 維持管理費：0.4/0.4億円)		<b>総便益</b> (残事業)/事業全体 61/61 億円 (走行時間短縮便益：58.6/58.6億円 走行費用減少便益：2.5/2.5億円 交通事故減少便益：0/0億円)
<b>事業の効果等</b> ・都市再生（市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり。） ・個性ある地域の形成（新規整備の公共公益施設へ直結する道路である。）			
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ：名塩ニュータウンの骨格をなす主要な幹線街路であることから、地元公共団体からの期待は変わらずに大きい。			
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ：郊外型ニュータウンの事業環境は厳しいが、当該路線は名塩ニュータウンの骨格をなす街路であり、重要な公共施設であることに変わりはない。			
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 当該路線のうち、都計道3・4・172までの南側街路は平成7年4月までに順次供用開始している。都計道3・4・172から北側については、宅地供給に向けて事業を実施中である。			
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ：平成16年度に事業完了の見込み。			
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 舗装材料に再生材料を利用しコスト縮減を図っている。			
対応方針		事業継続	
<b>対応方針決定の理由</b> ：ニュータウン事業を形成する重要な施設であるため、ニュータウン事業の進捗に併せた整備を引き続き推進する。			
<b>事業概要図</b> <div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">名塩団地線 L=3.4km</p> <p style="text-align: center;">計画交通量 1,340台/日</p> </div>			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。